

新庄・最上ジモト大学推進事業

最上地域の課題

- 高校生の約7割が
進学等により転出
- しかし、卒業後の
回帰率は2割程度
- 少子化は加速、
地域課題も山積
- 将来の地域を担う
人材が不足



地域課題に対し
若い世代の関心を高め、
地域に貢献する次世代の
人材育成が必要

新庄・最上ジモト大学

地域の大人と高校生が
地域のことを本気で語り、学び、交流する場づくり

地域の大人



高校生

コンソーシアムを構築

『新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム』



事業の詳細

《SHINJO・MOGAMIジモト大学の企画運営》

- 官民においてプログラムを提供
- 内容：課題等の共有、認識のためのワークショップや体験活動等

《高等学校の活動との連携・協働》

- 地域における活動を通じた探究的な学びの実現
- 学校の中だけではできない多様な社会体験の推進
- 「地域との協働による高等学校改革推進事業」(文部科学省)を活用した取組みの展開

目的

- 最上地域の高校生を対象に、地域課題等に関する住民等との対話や協働等を通じて、高校生の主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- 地域住民としての当事者意識を醸成することにより、将来の定住や地域の中核となる人材育成を図る。

